

◇6月の代祷・信施奉献先

▽教区青年活動のため▽「佐賀聖ルカ教会」伝道所の働きのため▽国際こども学校の働きのため▽きぼうのいのちのため▽東京教区神学生のため(23日)

司式…高橋宏幸主教
お話し…池星熙司祭(正義と平和協議会議長)

▽教区青年会 土曜定例プログラム「マルコによる福音書を読む」

日時…6月22日(土) 14時～16時
場所…東京諸聖徒教会
対象…18～35歳(※高校生除く)
参加費…無料
申込み…不要

◇教区合同聖餐式報告

6月9日(日) 14時から

香蘭女学校礼拝堂において、司式・説教 高橋宏幸主教

式典長 塚田重太郎司祭、実行委員長 福永澄氏(聖マーガレット教会)にて執り行われた。

礼拝出席者約630名。礼拝の中で高橋主教から24名の方々が堅信を受けられた。

教会への所属は問いません。対象世代の方は、どなたもお気軽にいらして下さい！

毎月行っている「例会」ではマルコによる福音書を少しずつ読み進めています。

この青年会では、「正解を探す」「理解する」ではなく、その日の気持ちで読んでそれをシェアすることを大切にしています！

当日の信施約70万円は小笠原諸島における宣教の働きのためにささげられる。

詳しい場所や、プログラムの内容はSNSにアップしています！

◇沖縄週間を覚えて祈る

日時…6月23日(日) 17時～

場所…聖アンデレ主教座聖堂

詳しい場所や、プログラムの内容はSNSにアップしています！

日時…6月23日(日) 17時～

場所…聖アンデレ主教座聖堂

ています。詳しくは、青年会SNSをご確認下さい！
(Instagram/Twitter) @tko_ seinenkai/Facebook @tko. seinenkai

ロクパドン・ハガティ▽タラ・エリザベス・ハガティ▽ヴェルナ・パトリシア・ホルダー▽アイリ・ジュタ

◇初陪餐

ン▽イア・ンヒトシ・マツナガ▽マリン・ソフィア・マイヤー▽アイリーン・ケ

◇堅信受領

シア・ラジャン▽カイト・ポール・サワキ▽マヤ・ル

6月9日 東京聖テモテ教会

シル・イスリン・ロジャー

◇堅信受領

ス(聖オルバン)▽山谷尚

6月9日 香蘭女学校礼拝堂

子(三光)▽戸井田博之▽

▽天野真実(聖アンデレ)

福田隆多朗▽佐々木径子▽

▽ジェシー・スチュアート・

田邊郁雄(目白)▽藤森範

ギレスピー▽ステファン・

子(聖救主)▽伊藤優子(聖

今週・来週の予定

6月16日～29日

16(日) 三位一体主日・聖霊降臨後第1主日
主教巡回 立教学院諸聖徒礼拝堂

18(火) 広報委員会

19(水) 教役者レクイエム

20(木) 常置委員会

22(土) 教区青年会(東京諸聖徒)

23(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回 聖パウロ教会

26(水) 資料保全委員会
人権委員会
信仰と生活委員会

◆としえの平安

ルカ)▽塚田留理▽竹之下純(聖マーガレット)▽金

6月5日 牧野 永城(93)

信英▽金在英(立教諸聖徒)

6月8日 中西 信(107)

王子復活)▽作田 桜子▽三浦 静夏(八

6月12日 齊藤 政雄(94)

◆教役者レクイエム

日時…6月19日(水) 10時半

6月13日 高橋 嘉道(84)

場所…聖アンデレ主教座聖堂
説教者…卓志雄 司祭

聖アンデレ

「奉献先紹介」

「きぼうのいえ」

ました。

ことに一人ひとりの命を大切にしてくるために、どのような視点からの支え合いが必要になるのかを考える機会ともなりました。地域における福祉の足掛かりとなるきぼうのいえに期待する声にはげまされ、さらに工夫を重ねてゆく勇気を関係者に与えていただいたと感じています。

設の時に礼拝堂に掲げられたこの家の希望を忘れることなく。

理事長 司祭 下条 裕章

審査を経て、2018年

わずか21室の施設です

▽司祭 秋山 基一▽執事 阪井 徳太郎▽司祭 柴田 通三▽伝道師 梅本 惣吉▽司祭 木村 清▽司祭 ジョセフ・ゴンザレス▽司祭 大野 俊朗▽司祭 東 信行▽伝道師 山口 千里▽伝道師 伊木 久次郎▽司祭 山縣 与根二▽司祭 牧岡 鉄弥▽伝道師 山田 智代▽伝道師 太田 りゅう▽伝道師 海保 小鹿代▽司祭 山崎 正雄▽司祭 遠山 隆夫▽司祭 寺井 俊健▽司祭 宅間 信基

きぼうのいえは、多くのみなさま、ことに聖公会をはじめとするキリスト者のご支援と祈りに支えられて備えられ、創立から1年後の2002年10月に現在の建物を与えられました。

が、これからも、手取り足取りの不足のない介護を目指すというのではなく、一人ひとりの命の力に信頼して、ともに生きることを目指しながら進んでゆきたいと願っています。

多くの人びとに支えられ、出会いを大切にしながら、そして「…全能の神が、ここに入るすべての人々を祝福し、その生涯を守り導き、永遠の生命の喜びに導いてくださいますように。」と開

今日まで行き場を失った人たちを支え、人と人との支え合う生活の場、一つの家・家族としての営みを、入居者、スタッフ、ボランティアがともに、感謝のうちに続けてくることができ

きぼうのいえまた山谷地域の医療・福祉に携わる方々から活動の報告とともに評価を伺い、あるいはこれらの歩みをもにしてくるための多くの知恵と励ましが示される集まりとなりました。また、それは山谷での働きにとどまらず、将来の日本社会における福祉、